

令和 6 年度

部活動の地域移行に関するアンケート結果報告

- 中学 1・2 年生
- 小学 5・6 年生
- 保護者（小学 5 年～中学 2 年）
- 中学校教職員
- 小学校教職員

令和 6 年 5～6 月実施

防府市教育委員会

# 1 はじめに

## 1 目的

防府市では、令和 8 年度までに学校部活動を地域に移行し、新たなスポーツ・文化芸術活動の環境整備に向け協議を進めている。子どものニーズや課題を把握し、持続可能な部活動改革の取り組みの参考とするため、児童・生徒・保護者、教職員へのアンケート調査を実施した。

## 2 調査対象及び回答率

- ・ 中学 1、2 年生 1655 人（回答率 91.0% 1655 人/1818 人）
- ・ 小学 5、6 年生 1732 人（回答率 86.1% 1732 人/2011 人）
- ・ 小学 5～中学 2 年生の保護者 2243 人（対象 2781 世帯）
- ・ 中学校教職員 156 人（回答率 67.5% 156 人/231 人）
- ・ 小学校教職員 225 人（回答率 53.4% 225 人/421 人）

※調査対象者数は、令和 6 年 5 月 1 日現在の数値を基にした。

## 3 調査期間

令和 6 年 5 月～6 月

## 4 調査方法

無記名調査

Web によるアンケートフォームから回答

（保護者のアンケートはアンケート用紙による回答もある）

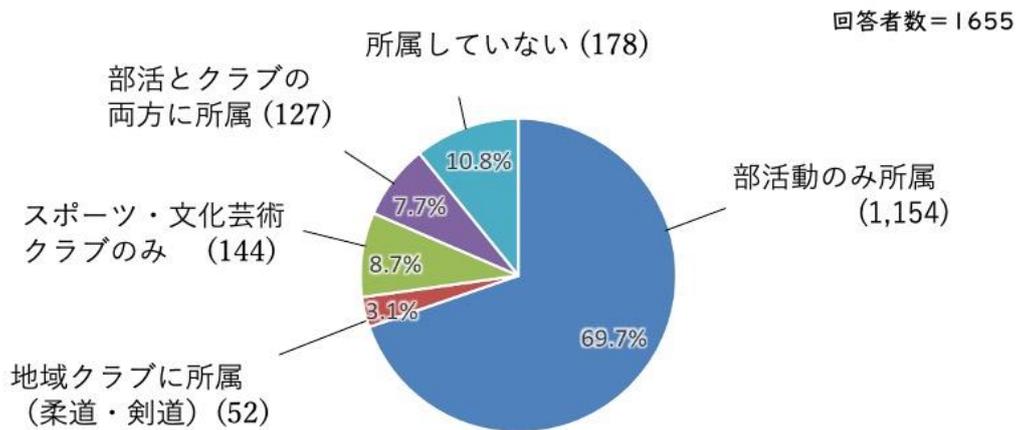
## 5 調査結果の備考

推計値は回答率を 100%として推計

## II 結果

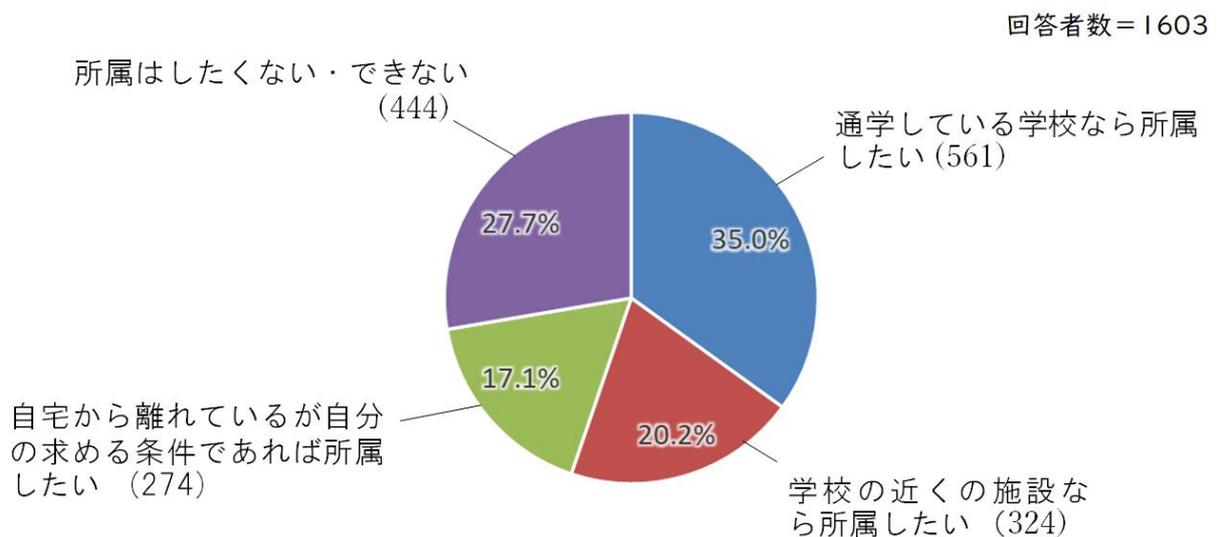
### 【中学1・2年生】

#### 1 部活動や学校以外のスポーツ・文化芸術活動の所属状況



学校部活動に所属している生徒の割合は77.4%（前年度86.5%）である。

#### 2 部活動が地域クラブに移行した場合、所属したいと思いますか？



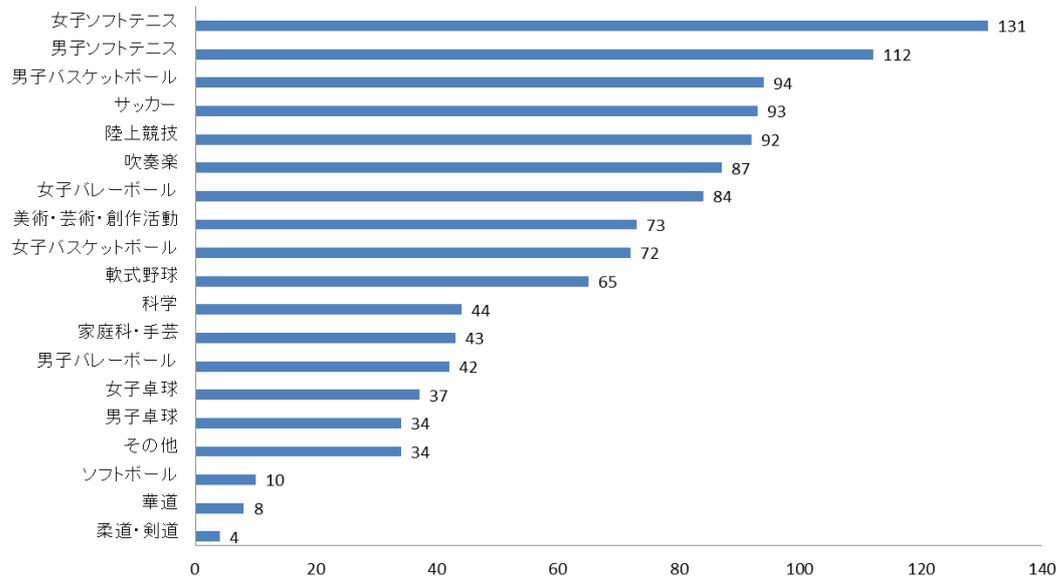
※ 柔道・剣道（地域クラブ）に所属している生徒は回答していない

地域クラブ活動に対し、通学している学校または、近くの施設なら所属したいと考える生徒が約半数である。通学している学校や近くの施設での活動を可能にするためには指導者の確保が課題である。

[中学1・2年生]

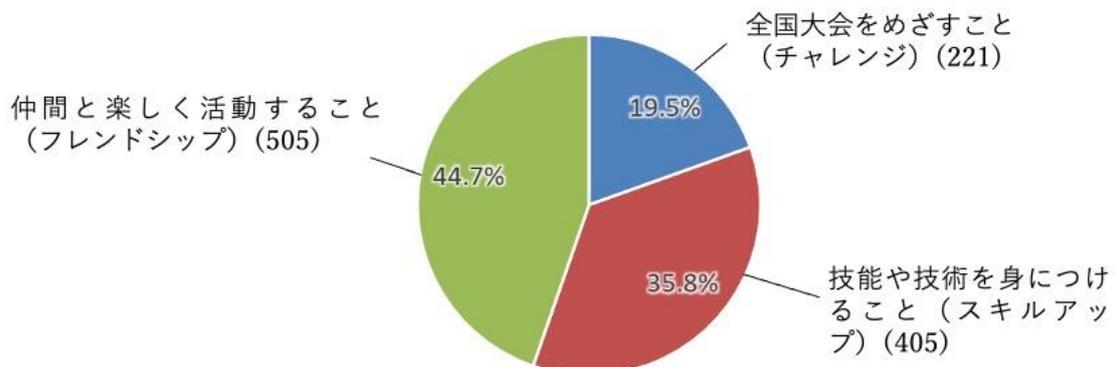
3 地域クラブに移行した場合、何の種目に入りたいですか？

回答者数=1159



4 あなたは選択したクラブでどのような目的をもって活動したいですか？

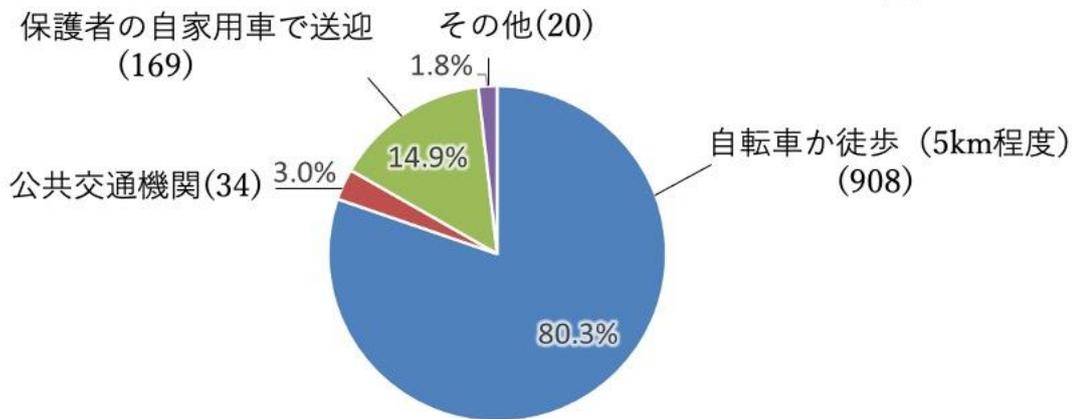
回答者数=1131



[中学1・2年生]

5 行き帰りの移動手段はどのようなですか？

回答者数=1131



昨年度よりも自転車か徒歩で移動すると答えた生徒の割合が増えている。活動時間や活動場所まで安全に移動できる環境づくりと安全教育の徹底が必要となる。

6 現在、地域クラブ（柔道・剣道）に所属している生徒への質問

(回答者=15人)

活動を通して良いこと、改善したいことがあれば記述してください。

<良かったこと>

- ・他の学校の人と仲良くなれる。
- ・人数が増え、いろんな人と活動できる。
- ・始まる時間が遅いので学校から帰った後に休憩できる。
- ・今まで会ったことのない人とも稽古できる。

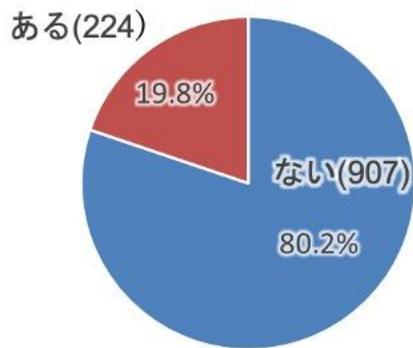
<改善したいこと>

- ・通うのが難しい子が続けられない。
- ・荷物が重くて移動が大変。
- ・移動に時間がかかる。
- ・夜遅くなる。
- ・クラブチーム同士の試合数を増やしてほしい。

[中学1・2年生]

7 防府市の地域クラブ化にあたって、不安はありますか？

回答者数=1131



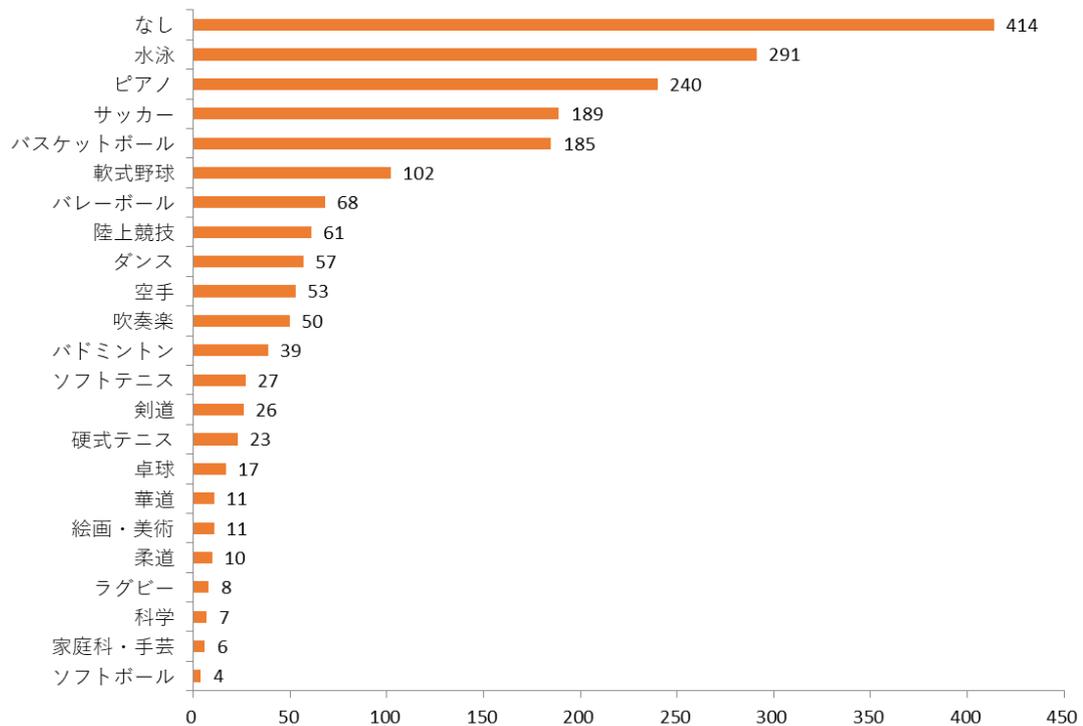
不安が「ある」と答えた人は、どのようなことが不安ですか？

- ・ 未だに曖昧なのが不安。どのような活動方法になるのか、どのようにどこでいつ行うのか
- ・ 通学している学校じゃない人が、部活をやめてしまうんじゃないかという不安
- ・ 部活動の回数が減ったりすること
- ・ 帰る時間が遅くなること。夜に練習になるかもしれないので怖い
- ・ 場所がもっと遠くなること
- ・ 親が送り迎えができないこと
- ・ お金がかかるのは当然かもしれませんが、クラブの教える先生が怖かったりしたらちょっと不安だなと思う
- ・ 今いる仲間と離れること
- ・ 知らない人と楽しく仲良くできるか。他の学校の生徒さん達と上手くやっていけるか
- ・ 上手い人たちもいると思うからついていけるかなどが不安
- ・ 地域移行した後でも、大会や記録会などに出られるのか
- ・ 楽器の移動やコンクールにどうやって出場するか
- ・ 楽器の保管とかお金がかかること
- ・ 学校から遠いと帰る時間が遅くなる、違うところで部活をしたら部活でタブレットを使うので返すためにまた学校に行かなければならない
- ・ 先生と話し合う機会が少なくなる

## 【小学5・6年生】

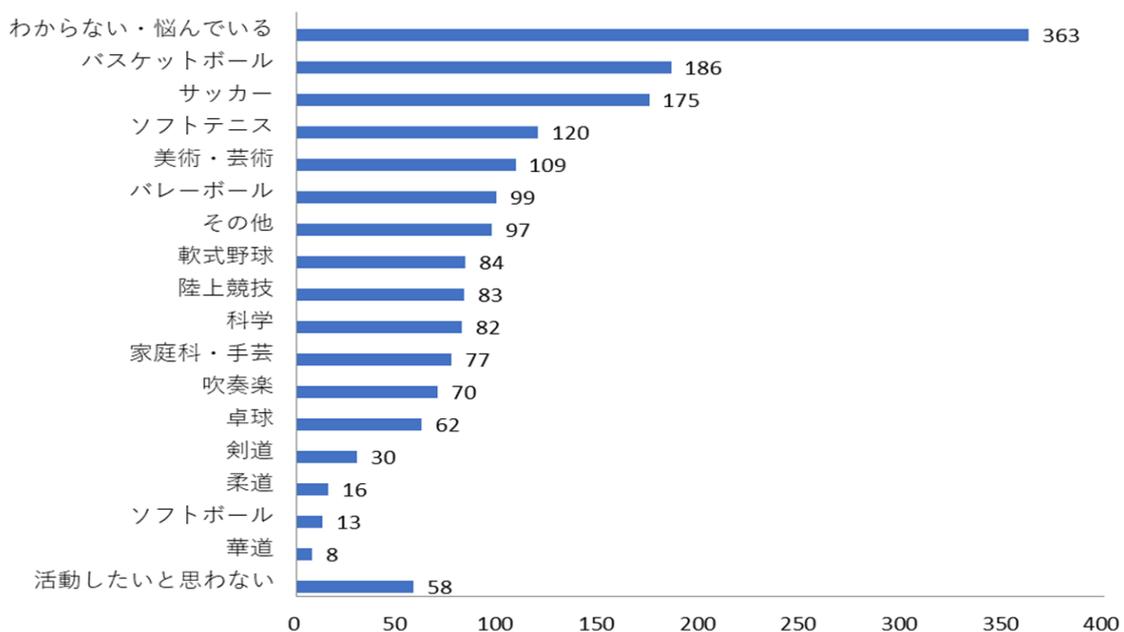
### 1 あなたはいま、学校や学校以外で習い事をしていますか？（複数回答可）

回答者数 = 1732



### 2 あなたが中学生になって活動したいことは何ですか？

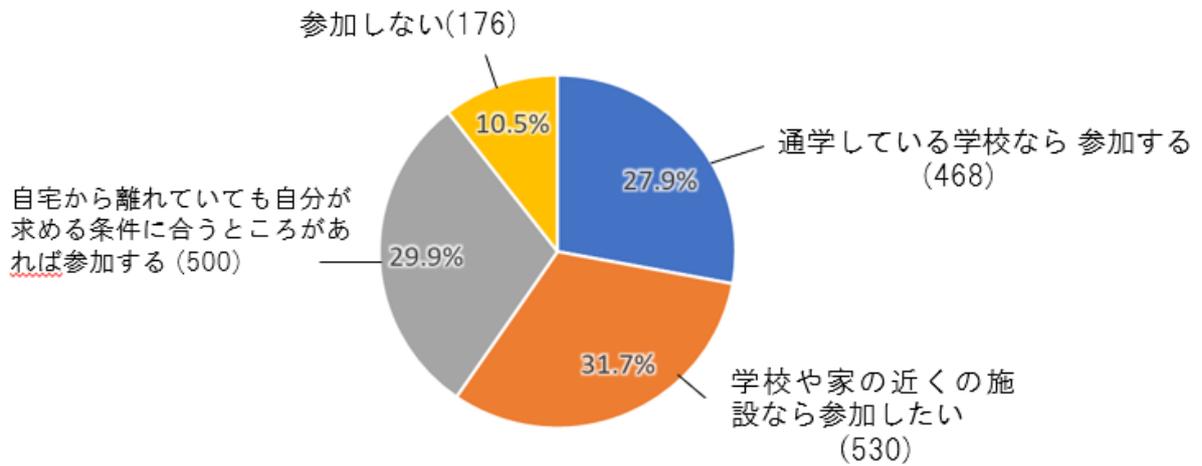
回答者数 = 1732



[小学5・6年生]

3 部活動が地域クラブに移行した場合、所属したいと思いますか？

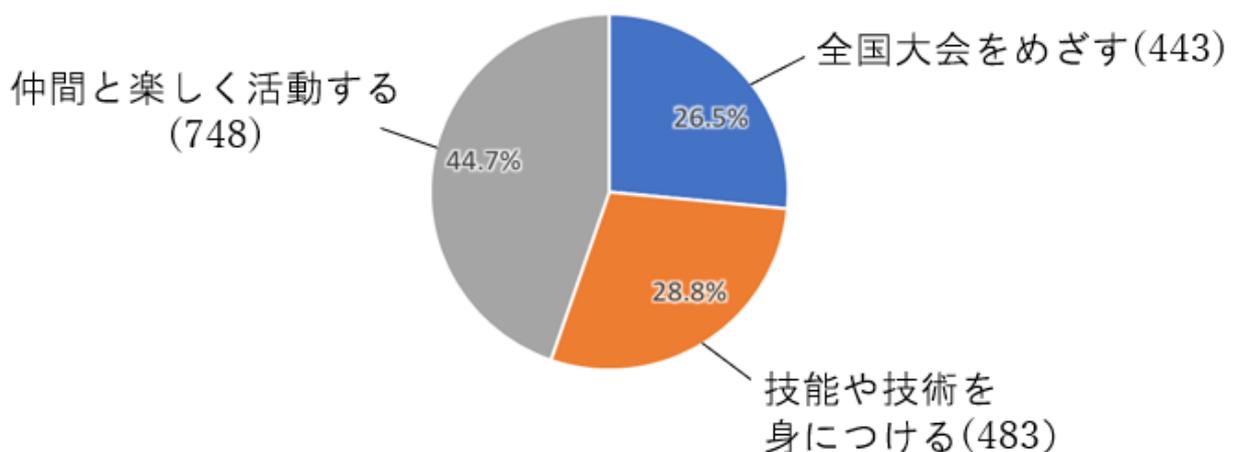
回答者数 = 1674



※2で「活動したいと思わない」と答えた児童以外の人数

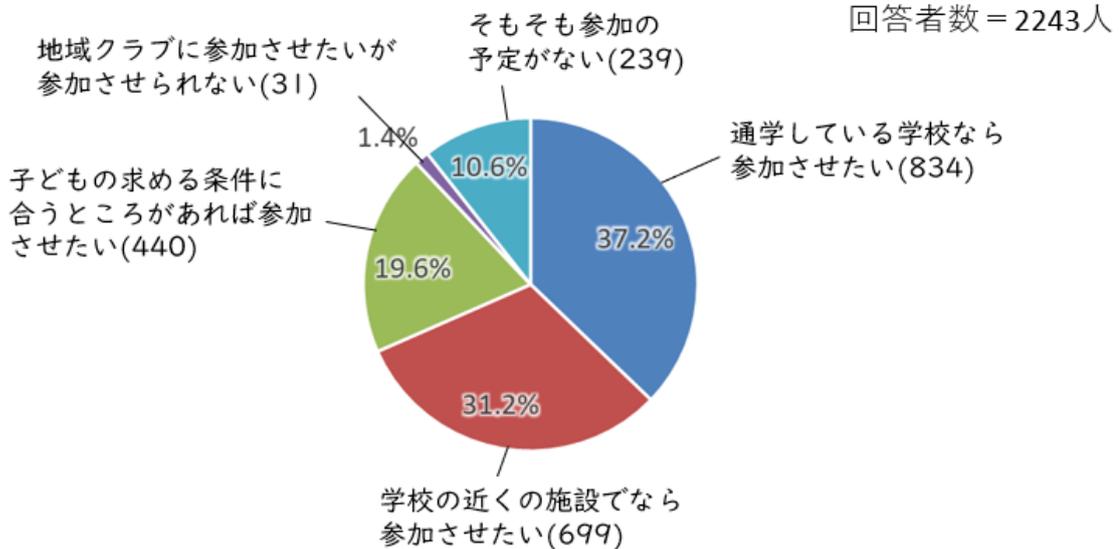
4 活動を行う場合、次のうちどれをめざしますか？

回答者数 = 1674



## 【保護者】

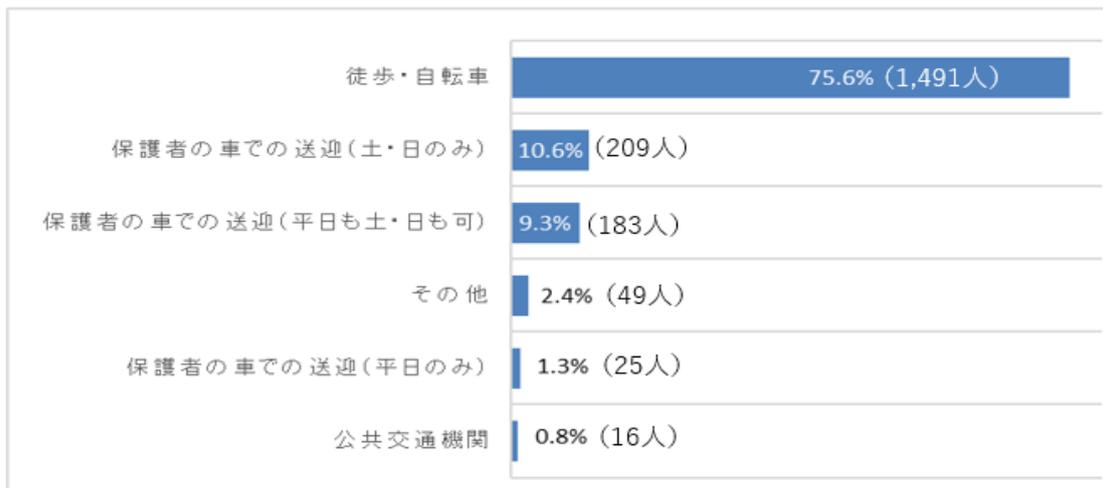
### 1 お子様を地域クラブのスポーツや文化芸術活動に参加させたいですか？



地域クラブ活動に参加させたいと考えている保護者は 89.4%（前年度 97.8%）である。学校等でなくても子どもの求める条件に合うところがあれば参加させたいと考えている保護者が 19.6%（前年度 31.4%）で、昨年度よりも 1 割減少している。

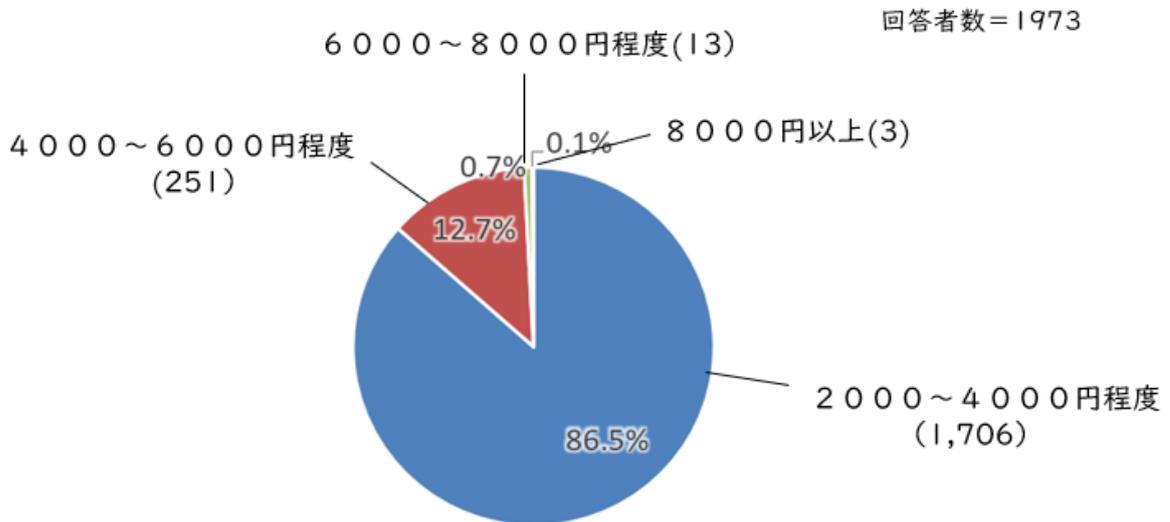
### 2 活動場所が市内全域になりますが、主な移動手段はどのようなですか？

回答者数 = 1973



9 割の保護者が平日は送迎ができないため、学校に 1 つは地域クラブを立ち上げることが望まれる。また、保護者と同様に生徒の 8 割が徒歩か自転車での移動を想定していることから、市内の生徒が一斉に移動することを想定した安全への配慮が必要である。

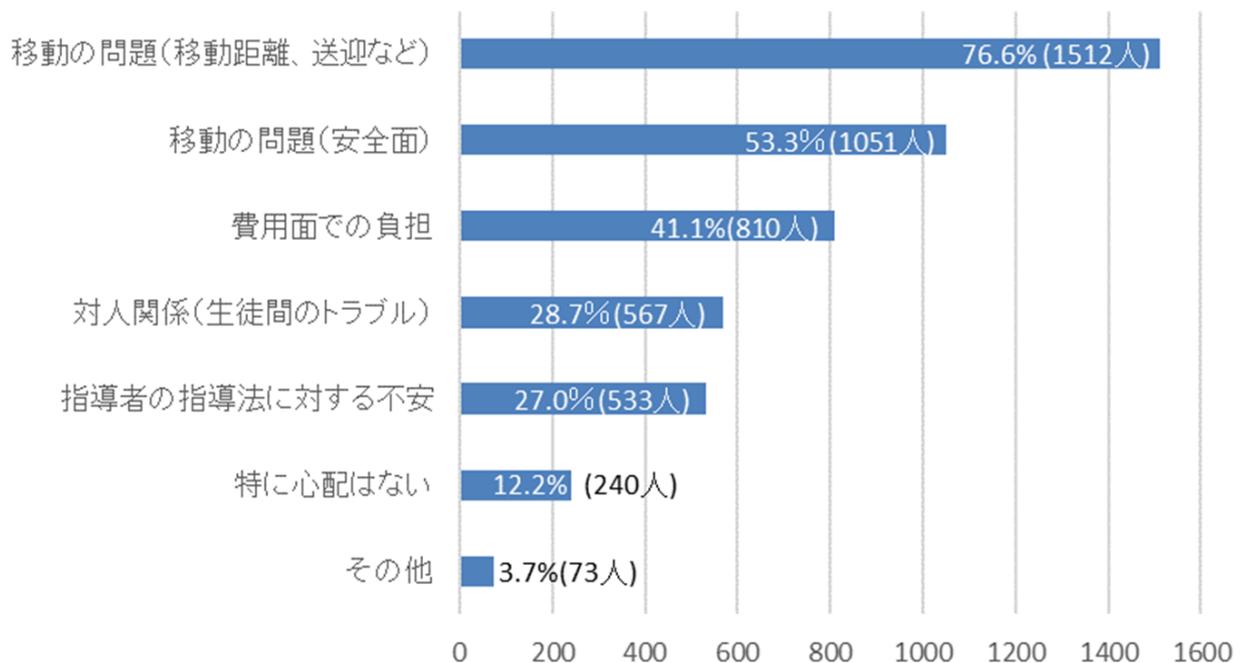
### 3 地域クラブに移行した場合、月々どの程度の会費が適当と考えますか？



地域クラブの月額費用については、86.5%の保護者が2,000～4,000円以内が適当と考えている。

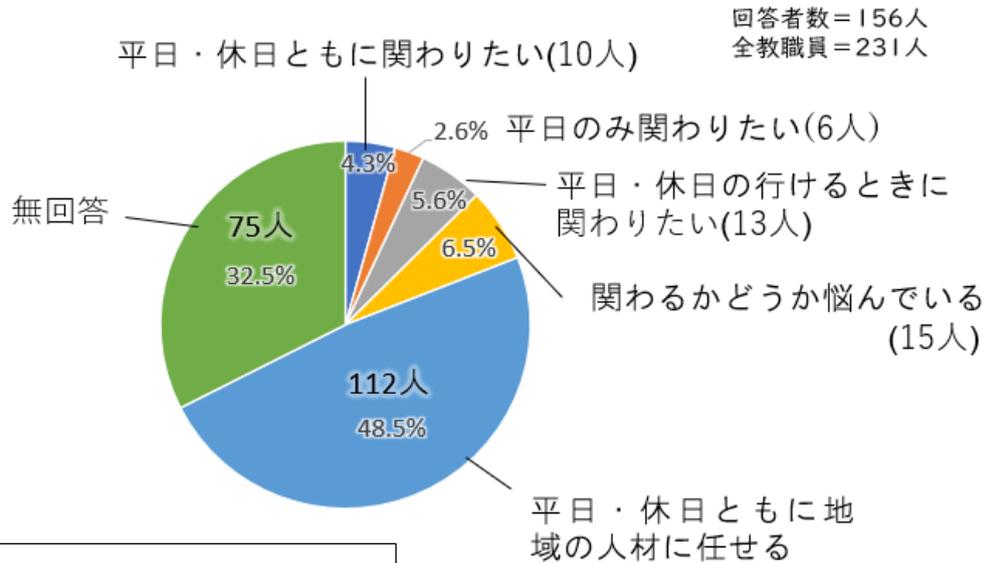
### 4 地域クラブに移行するに当たって心配なことはどんなことですか？

回答者数=1973 (複数回答可)



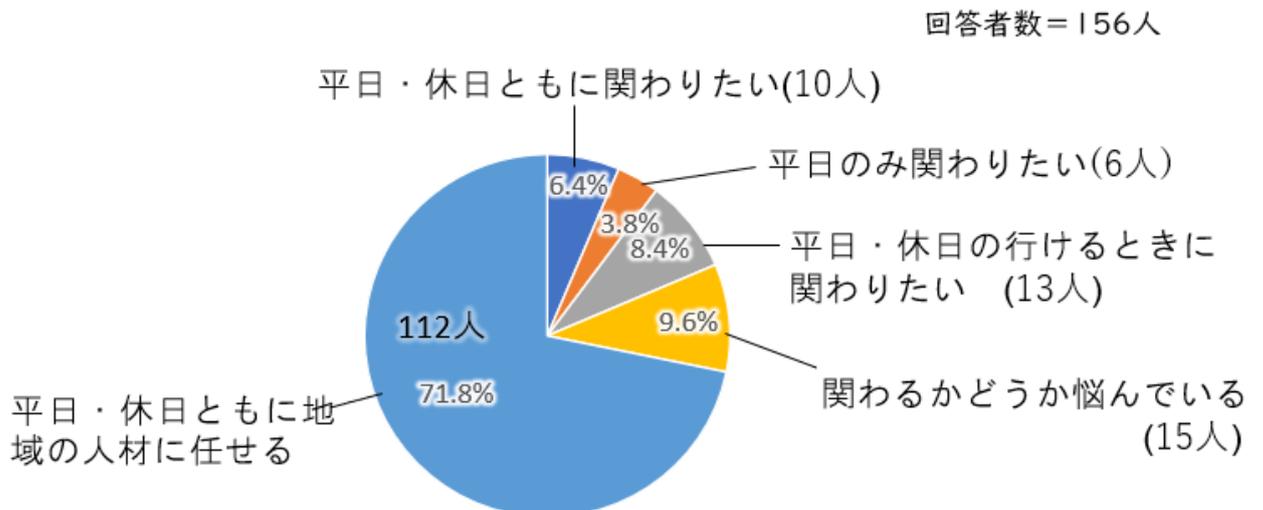
## 【中学校教職員】

### 1 【全教職員中の割合】地域移行した場合の意向



中学校教職員全体(231人)のうち、地域クラブに関わりたいという希望は12.6%である。

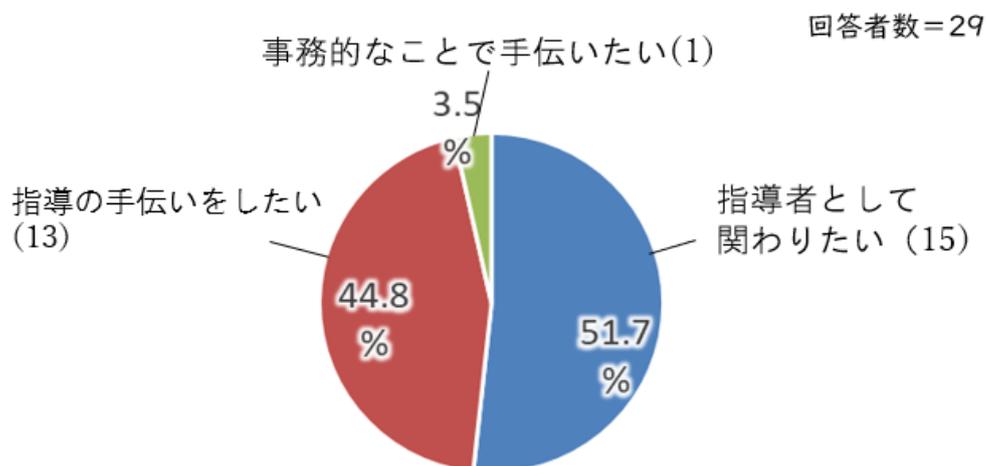
### 1-2 地域移行した場合の意向（中学校教職員の回答者内の割合）



中学校教職員で回答した人(156人)のうち、地域クラブに関わりたいという希望は18.6%（前年度20.4%）である。

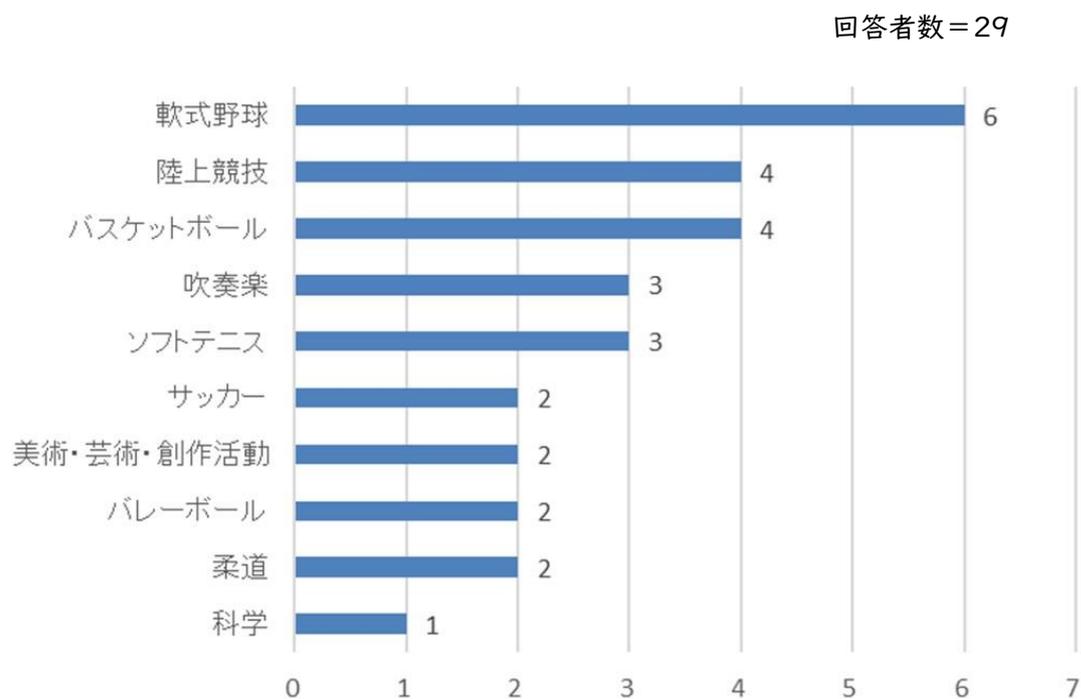
## [中学校教職員]

### 2 地域移行した場合の意向：関わり方



中学校教職員で地域クラブに関わりたい人(29名)のうち、指導者として関わりたい教職員は15名である。

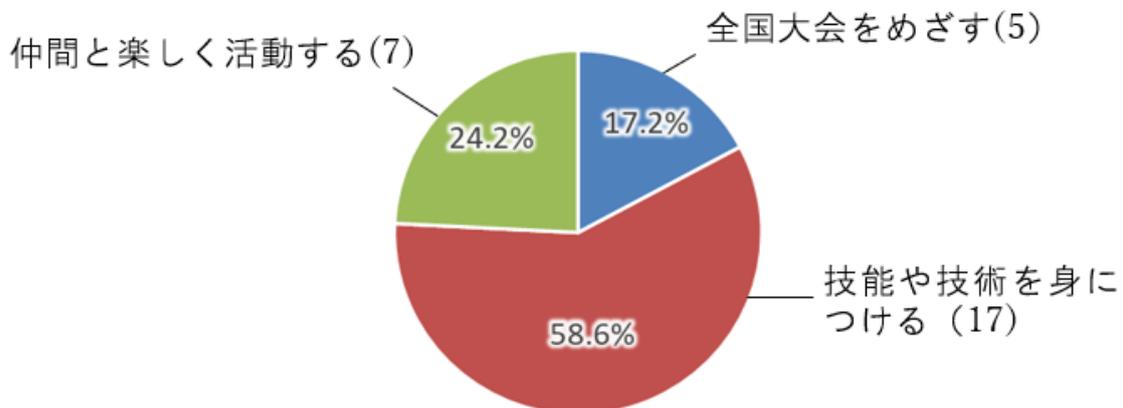
### 3 関わる場合、どのスポーツや文化芸術の種目・内容に関わりたいですか？



[中学校教職員]

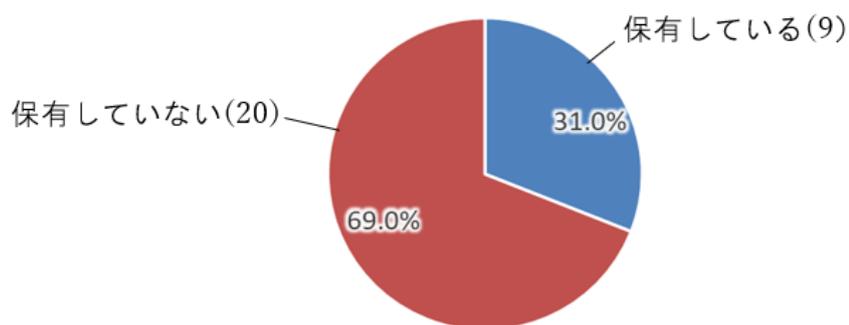
4 活動に関わる中で、あなたはどのようなことをめざしますか？

回答者数=29



5 指導したい種目の指導者資格を持っていますか？

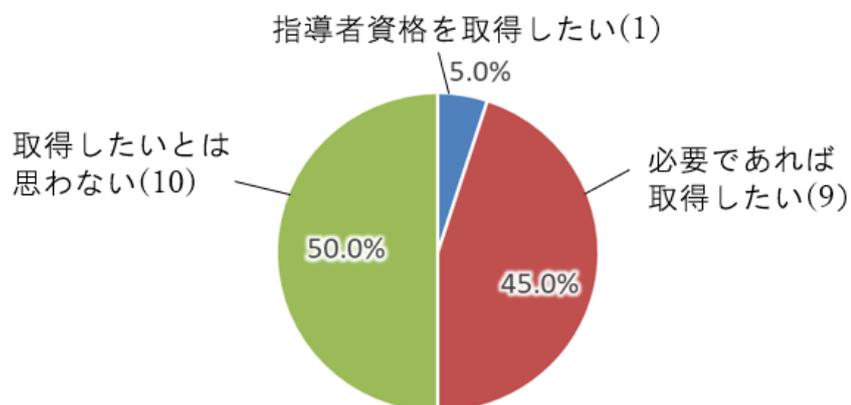
回答者数=29



6 資格を保有していない方

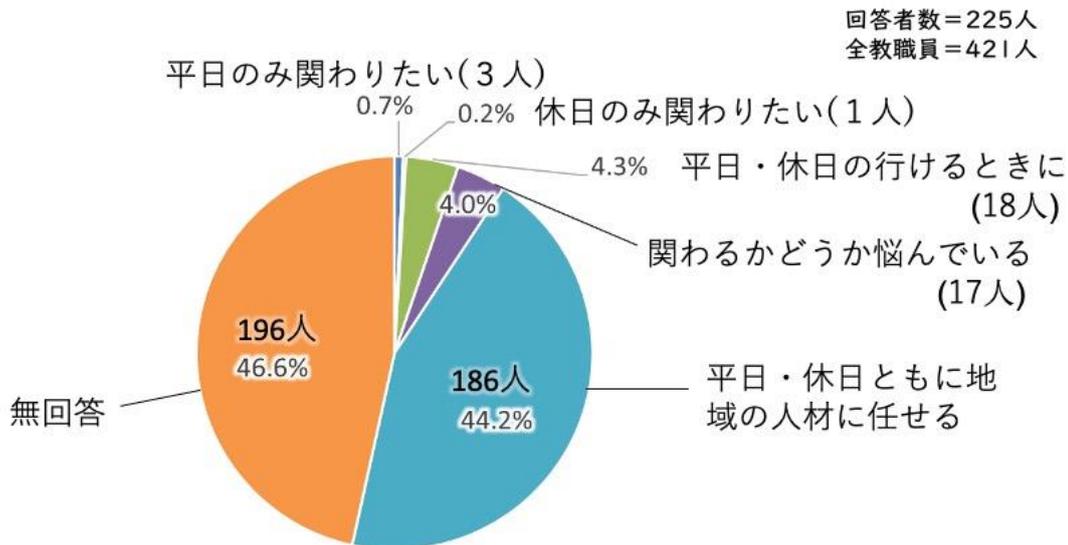
今後指導したい種目の指導者資格を取得したいと思いますか？

回答者数=20



## 【小学校教職員】

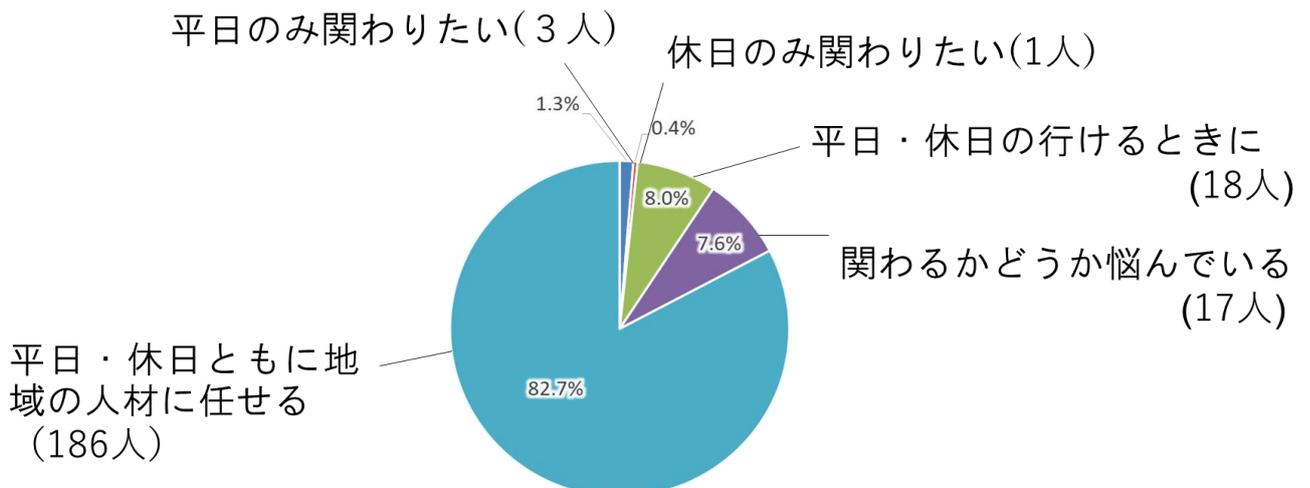
### Ⅰ 【全教職員中の割合】 地域移行した場合の意向



小学校教職員全体(421人)のうち、地域クラブに関わりたい教職員は22名(5.2%)である。

### Ⅰ-2 地域移行した場合の意向 (小学校教職員の回答者内の割合)

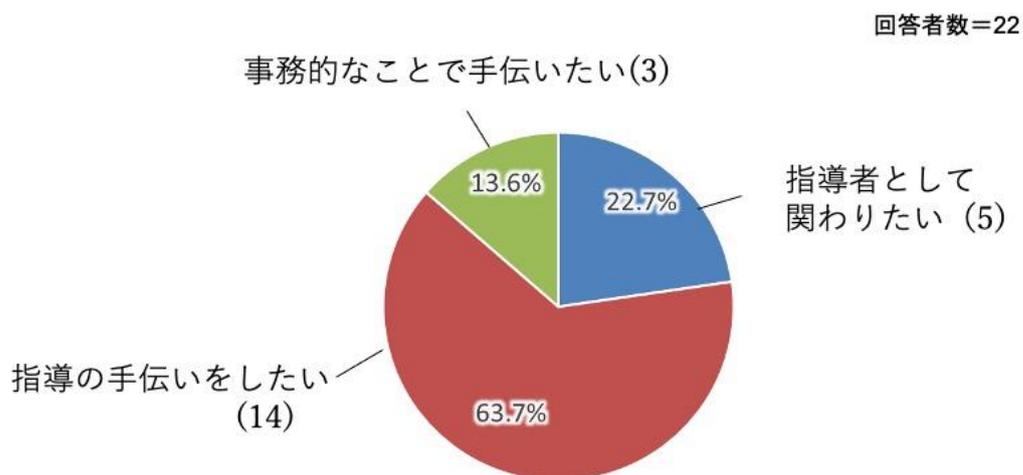
回答者数=225



小学校教職員で回答した人(156人)のうち、地域クラブに関わりたいという希望者の割合は9.7%(前年度14.7%)である。

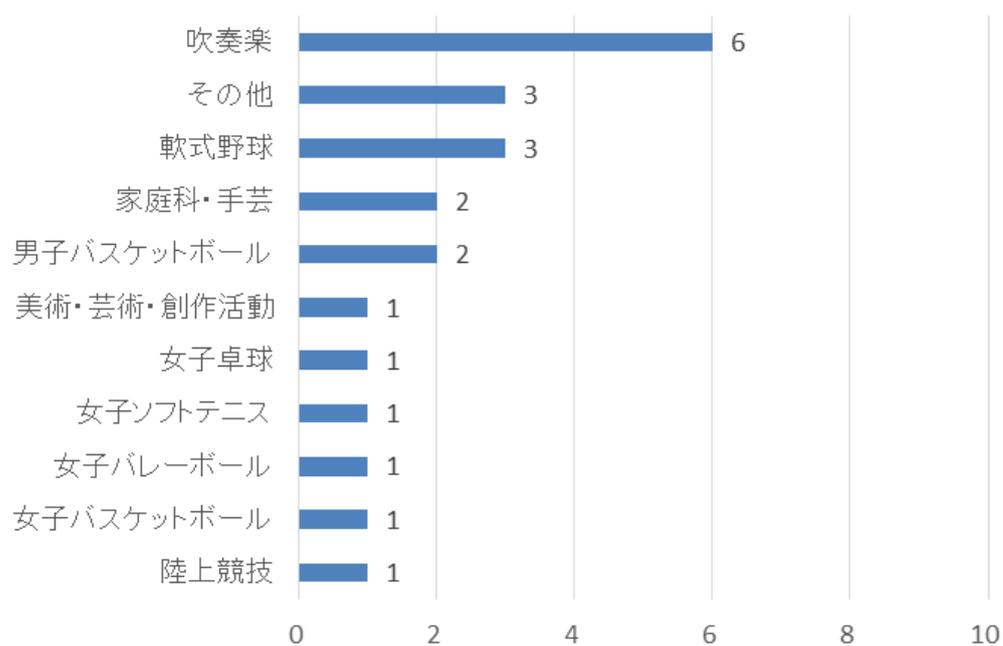
## [小学校教職員]

### 2 地域移行した場合の意向：関わり方



### 3 関わる場合、どのスポーツや文化芸術の種目・内容に関わりたいですか？

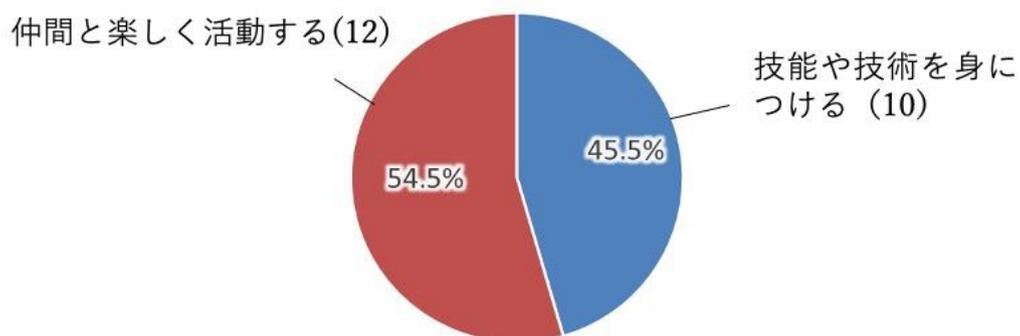
回答者数=22



[小学校教職員]

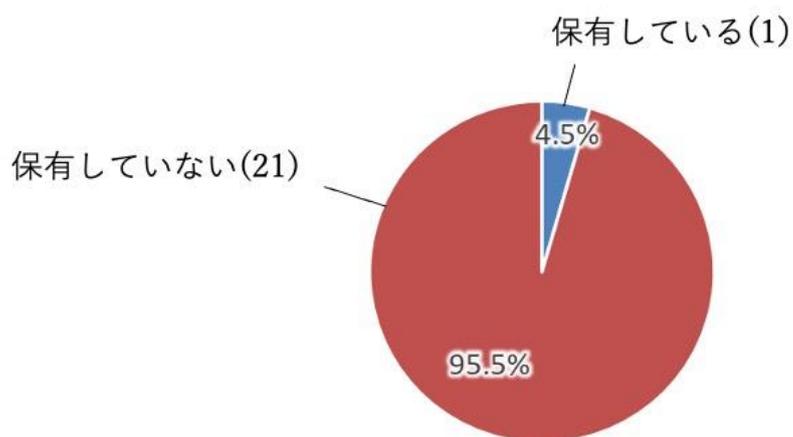
4 活動に関わる中で、あなたはどのようなことをめざしますか？

回答者数=22



5 指導したい種目の指導者資格を持っていますか？

回答者数=22

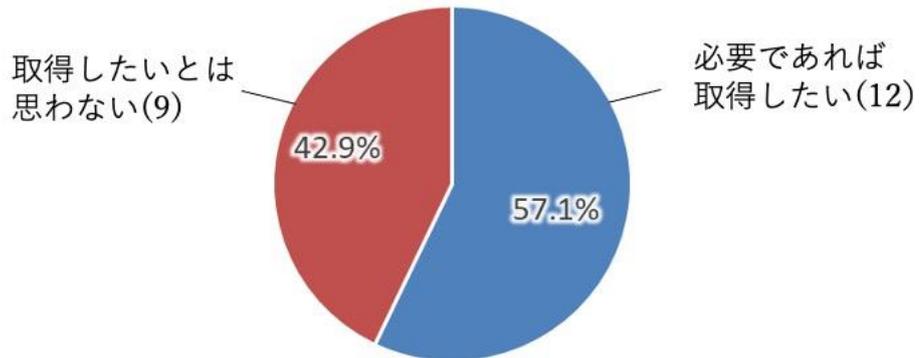


[小学校教職員]

6 資格を保有していない方

今後指導したい種目の指導者資格を取得したいと思いますか？

回答者数=21



### Ⅲ 結果とまとめ

#### 「中学生アンケート結果の傾向」

##### 【現在の状況】

学校部活動に加入している生徒の割合は77.4%（前年度86.5%）である。また、令和5年度8月に開始した柔道・剣道の地域クラブは3.1%の加入率である。

##### 【地域クラブ活動に対する中学生の考え】

- ・地域クラブ活動に対し、通学している学校または、近くの施設なら所属したいと考える生徒が約半数である。通学している学校や近くの施設での活動を可能にするためには指導者の確保が課題である。
- ・「所属はしたくない・できない」と答えた生徒444人（27.7%）のうち、1/4は地域クラブ以外のクラブチームへの加入を希望、または、すでに行っている習い事を続けたいと考えている。
- ・活動の目的は、「仲間と楽しく活動する」と考える生徒が44.7%（前年度40.6%）、「技能や技術を身につける」と考える生徒が35.8%（前年度33.8%）、「全国大会をめざす」と考える生徒が19.5%（前年度25.6%）である。どの目的においても、仲間と活動することによる協同性や社会性等の育成につながるよう、部活動が果たしてきた役割を継承しつつ活動できる受け皿を確保していくことが求められる。
- ・生徒が想定している活動場所への移動方法は、自転車か徒歩（5km程度）が80.3%であり（前年度59.6%）、保護者の送迎が14.9%（前年度33.0%）である。昨年度よりも自転車か徒歩で移動すると答えた生徒の割合が増えている。活動時間や活動場所まで安全に移動できるような環境づくりと安全教育の徹底が必要となる。また、学校による安全管理上の事情も異なるため、令和6年度のモデル事業を通じて検証する。
- ・地域クラブ化にあたっての不安については、「ない」と答えた生徒が80.2%、「ある」と答えた生徒が19.8%であった。生徒の不安の内容は、「チーム内での人間関係」「指導者」「時間」「場所」「内容」「費用」「移動（交通手段・送迎）」などである。リーフレット等での情報のほか、地域クラブの説明会やクラブ体験会などで具体的な情報を得られる機会をつくり、発信していく必要がある。

## 「小学生アンケート結果の傾向」

### 【地域クラブ活動に対する小学生の考え】

- ・児童の76%が何らかの習い事をしている。水泳、バスケットボール、サッカー、軟式野球、ピアノが多いが、習い事の種類の多岐にわたる。
- ・中学生になって活動したいことについて、「わからない・悩んでいる」(21.0%)という回答が最も多かった。スポーツでは活動したい種目の上位がバスケットボール(10.7%)、サッカー(10.1%)、ソフトテニス(6.9%)、文化芸術では、美術・芸術(6.3%)、科学(4.7%)、家庭科・手芸(4.4%)、吹奏楽(4.0%)である。
- ・中学生になって地域クラブの活動に所属したいと考えている児童は89.5%(前年度90.9%)である。その中で、「仲間と楽しく活動したい」と考える児童が44.7%、「技能や技術を身につけたい」と考える児童が28.9%、「全国大会をめざしたい」と考える児童が26.5%であり、中学生とほぼ同様の割合であった。

## 「保護者アンケート結果の傾向」

### 【地域クラブの参加について】

- ・地域クラブ活動に参加させたいと考えている保護者は89.4%(前年度97.8%)である。
- ・そのうち、「通学している学校なら参加させたい」という保護者と「学校の近くの施設なら参加させたい」という保護者を合わせて68.4%である。学校等でなくても子どもの求める条件に合うところがあれば参加させたいと考えている保護者が19.6%(前年度31.4%)で昨年度よりも1割減少している。

### 【活動場所への移動について】

- ・子どもの移動方法は、75.6%の保護者が徒歩か自転車(5km程度)を想定している。平日の送迎が可能な保護者は、わずか10.6%で、休日の送迎が可能な保護者を含めても21.2%(前年度27.0%)である。
- ・9割の保護者が平日は送迎ができないため、学校に1つは地域クラブを立ち上げることが望まれる。また、保護者と同様に生徒の8割が徒歩か自転車での移動を想定していることから、市内の生徒が一斉に移動することを想定した安全への配慮が必要である。

#### 【地域クラブ活動の参加費について】

- ・地域クラブの月額費用については、86.5%の保護者が2,000～4,000円以内が適当と考えている。地域クラブではできるだけ費用の負担がないよう低廉な価格での運営を求められるが、一方で専門的な指導による持続可能な活動にしていくための指導者謝金なども発生してくる。費用の内訳など詳細な説明を重ね保護者の理解を得ていくことが求められる。市としても令和6年度のモデル事業を踏まえ、移行期間、3～5年後、10年後の地域クラブのあり方を検討していく。

#### 【移行するに当たっての心配なことについて】（複数回答可）

- ・保護者の不安として、「移動の問題（移動距離、送迎、安全面）」が大きい。通う学校での活動や送迎バスの希望などの声が多い。
- ・次いで費用面の負担、対人関係（生徒間のトラブル）、指導者の指導法に対する不安を選んでいる。
- ・全体として、どのように部活動が地域移行していくのか具体的に教えてほしいという意見もみられる。生徒や保護者の関心は高いものの、説明がまだ行き届いていない現状がある。ホームページに情報を掲載する以外にも、学校との連携を図りながらリーフレットの配布や説明会の開催を重ねる必要がある。

### 「教職員アンケート結果の傾向」

#### 【地域クラブへの関わりについて】

- ・回答した人のうち中学校で18.6%（前年度20.4%）、小学校で9.7%（前年度14.7%）の教職員が平日か休日のみ、または、平日・休日の両方で地域クラブに関わりたいと回答している。（中学校全教職員では12.6%の希望）
- ・このうち、指導者として関わりたい教職員は中学校で15名（前年度30名）、小学校で5名、指導の手伝いが中学校、小学校合わせて27名である。